

# Starting Point ★

「通じやすい」英語の習得を目指して、発音の基本を効率的に学習しましょう。  
紹介する発音ルールは、120人のベテラン英会話講師の意見から作成した  
「日本語話者にとって難しい」音や要素のランキングのデータに基づいています。

今月の題目

## ストレス(強勢)[1]

※主に北米の発音を扱います

このコーナーのお役立ちポイント

◎正しい発音の仕組み ◎口を動かす練習 ◎発音ルールを盛り込んだスキット

▶日本の学習者が特に苦手な音の発音法と聞き取りのポイントを学ぶ

▶自分で声に出すことで、聞き取りの精度を高め、オーラルコミュニケーション力を向上させる

学習日

|          | 日付 |   |   |
|----------|----|---|---|
| 基本をチェック! | /  | / | / |
| 耳と口で確認!  | /  | / | / |
| スキットで練習! | /  | / | / |

## Starting Point



## HM Narration

Starting Point this month takes a look at a sometimes overlooked aspect of English pronunciation — stress. Focusing on syllables is a great way to get more comfortable with the sound and flow of English words. Let's get started.

今月の「聞き取るための発音入門」は、英語発音の、時に見過ごされることもある側面に目を向けます——強勢です。音節に注目するのは、英単語の音と流れに慣れるためのとても良い方法です。では始めましょう。

## 基本をチェック！

まずは、今月理解すべきポイントを押さえましょう。

## ストレス(強勢)とは

今月は、英語を正しく聞き取り、ネイティブスピーカーにとって聞き取りやすい発音を習得するために特に大切な「ストレス(強勢)」について学習します。

最新の音声学研究によると、ネイティブスピーカーが非ネイティブスピーカーの英語を聞く際、「個別の音の正しさ」よりも「ストレスの位置」に重きを置いて理解していることが分かっています。つまり、個別の発音が多少正確性に欠けても、会話の文脈などから意

味は通じる可能性が高いということです。一方、ストレスの位置を間違えて発音すると、コミュニケーションに決定的な悪影響を与え、会話のスムーズな理解に大きな支障が出てしまいます。

ただし、ストレスのルールはかなり複雑で、一度に全て覚えるのは困難です。そこで、コミュニケーションに特に影響のあるものを中心に、集中的に学習しましょう。

## ストレスの必須ルール

## ▶ 3種類のストレス

英語の単語は、1つの音のまとまりで成り立っているものもありますが、それ以外は、複数の音のまとまりが組み合わさっています。こうした発音のまとまりは通常、核となる母音を1つ含み、音節と呼ばれます。どの音節がどのくらい強調されて発音されるかを示すのがストレスです。

英語には以下の3種類のストレスがあり、それぞれ発音時の「音の長さ・高さ・大きさ」が異なります。

**第1ストレス** (※「●」で表します)：第1ストレスが置かれる母音は、①比較的長く、②高いピッチ(音程)と、③最も大きい音量で発音されます。

**第2ストレス** (※「●」で表します)：第1ストレスが置かれる母音よりやや短く、また、一段階低いピッチと音量で発音されます。

**弱ストレス** (※「・」で表します)：第1、第2ストレスが置かれる母音以外の母音は全て非常に短く、弱く、小さな音量で発音されます。

以上のルールにより、単語のストレスは、例えば次のように表記されます。

● ● ●  
dangerous

● ● ● ● ●  
education

● ● ● ● ● ● ●  
communication

## ▶ ストレスの位置

日常会話でよく使われる単語の約80パーセントは、基本的に、最初の音節に第1ストレスが置かれます。しかし、英語の単語には、ドイツ語、フランス語、ラテン語起源のものもあり、これらはそれぞれの言語のストレス規則に従っているため、全ての単語に共通する明確なルールはありません。正確なストレスを身に付けるためには、単語を覚えるときに、発音と共にストレスもしっかりと意識することが大切です。

## 耳と口で確認！

実際に音を聞き、声に出して、今月のポイントを確認しましょう。

M  
3

課題 1

Track 3には、以下の語が3回ずつ収録されています。  
1回読まれるごとにあるポーズ（間）で、ストレスに注意しながら、まねて言ってみましょう。

|   |                             |   |                                     |
|---|-----------------------------|---|-------------------------------------|
| 1 | <b>apple</b> [æpəl] (リンゴ)   | 5 | <b>happiness</b> [hæpɪnɪs] (幸福)     |
| 2 | <b>father</b> [fɑːðər] (父親) | 6 | <b>usual</b> [juːʒuəl] (いつもの)       |
| 3 | <b>Japan</b> [dʒəpæn] (日本)  | 7 | <b>discover</b> [dɪskʌvər] (～を発見する) |
| 4 | <b>select</b> [sɪləkt] (選ぶ) | 8 | <b>photograph</b> [fəʊtəgræf] (写真)  |

M  
4

課題 2

Track 4を聞き、各単語のどの音節に第1ストレスが置かれているかを選び、番号で答えましょう。  
※解答はこのページの下にあります。

1. pol-i-tics

① ② ③

3. a-part-ment

① ② ③

5. pho-tog-ra-phy

① ② ③ ④

2. e-ras-er

① ② ③

4. trans-por-ta-tion

① ② ③ ④

6. veg-e-ta-tion

① ② ③ ④

課題 2 の解答 ※ ( ) 内は単語の意味

1. ① (政治) 2. ② (消しゴム) 3. ② (アパートの部屋、集合住宅の一世帯分) 4. ③ (輸送、交通機関)  
5. ② (写真撮影) 6. ③ (植物、植生)

## スキットで練習！

仕上げるに、スキットを使って今月のポイントを体得しましょう。

Track 5で、以下のスキットをよく聞きましょう。

英文の上に記号で示された単語のストレスに特に注意してください。

その後、Track 6で、ポーズ（各文の後と、／がある場合はその箇所）でまねて言い（リピートイング\*）、最後に、再びTrack 5を聞きながら、今度は音声にやや遅れるようにしてまねて言って（シャドーイング\*）みましょう。

\*リピートイング、シャドーイングのやり方についての詳細は、『コースガイド』の15ページを参照してください。

M  
5M  
6

課題 3

**Nick:** Hi, Victoria! I heard that you got a job in Japan.  
Congratulations!

**Victoria:** Thank you, Nick. I'm going to work at a private language <sup>1</sup>institute in Tokyo teaching English. You also worked in Japan a few years ago, didn't you?

**Nick:** Yes, I used to be an assistant teacher in Chiba for about two years. I taught at a high school.

**Victoria:** What was the biggest <sup>2</sup>challenge when you lived in Japan?

**Nick:** Food. I'm a vegetarian, so it was <sup>3</sup>extremely difficult to <sup>4</sup>survive every day / without <sup>5</sup>encountering fish in Japanese food.

**Victoria:** That sounds <sup>6</sup>quite tough!

ニック：やあ、ビクトリア！日本での仕事が決まったって聞いたよ。おめでとう！

ビクトリア：ありがとう、ニック。東京にある民間の語学学校で、英語を教える仕事をすることよ。あなたも何年か前、日本で働いていたのよね？

ニック：うん、千葉で2年ほど、補助教員をしていたんだ。高校で教えてたんだよ。

ビクトリア：日本に住んでいたとき、何が一番大変だった？

ニック：食べ物だね。僕は肉食主義者だから、日本の食事で魚に出会わずに毎日を切り抜けるのは本当に難しかったよ。

ビクトリア：それはすごく大変そうね！

語注

① institute 協会、学会、研究所、学校 / ② challenge 問題、難問 / ③ extremely 非常に、とても / ④ survive 何とかやっ  
ていく / ⑤ encounter ~に出くわす / ⑥ quite かなり、相当

Coach



斉藤一弥(早稲田大学講師)

学生に英語の勉強と併せて勤めているのが、留学生の友達をたくさんつくること。世界各地から学生が集まる大学には、出会うの可能性が広がっています